



日曜新聞 昭和三十一年九月一日 第... 印刷部 印刷

常識講座

法的社會主義とは經濟を社會構成の根本とする思想に反對して法律こそ經濟より一層本質的なものである。法律的轉化でない経済的率命は不可能であること主張する社會主義のこと

日曹からの三萬圓

村債形式の條件付

赤井村小學校建築費の寄附

石城郡赤井村では去る廿九日午後十時から村會を招集し區長の改選に於て船生濱次郎氏（大字赤井）松本利重氏（大字三島）を決したる後寄附採納の件に移り小學校建築費として同村日曹齋藤氏から金三萬圓の寄附願出でなるものが村債として借入の形式を履み同村から仕掛ふ毎年の償還割當金を寄附者の日曹に於て負擔する云ふ條件の爲め田久彌一郎議員から即日からぬ節あるを述べ左記委員を上げて昨三十日から日曹との間に交渉を進めてゐるが村側の意見を容認されざる場合は前記三萬圓の寄附を謝絶し一萬二千圓の村債を以て敷地を購入一時假校舍を建て、明年度の秋季兒童を收容し日曹との關係を絶つて同鎮業所には私立校の建設を探らしむるの外なしと唱ひられてゐる

三陸沖の鯉の豊漁も

漸く終期次は秋刀魚

磐城丸が千島沖の調査

海水試取の磐城丸は定期海を以て終期次は秋刀魚の調査を行つたが明一、小名瀬へ歸る船中、今度の活動に準備する船体修理や非常時下の調査に順應する代用品の實驗等を行ひたる上目下三陸沖に豊漁状態では今年のサンマは幾分漁期遅れの模様であると

戦地郷土の産神に

の便 誓ひ申候てより

（上） 平市新町出身 正木 貞衛

拜啓、其の後打ち絶えて御無音にのみ過し居り候こと面々御座り候。時下敵寇の折柄貴下愈々御健勝にて戦後各國の御指導願遂に當られ御老境も御厭ひなく相變らず御奮闘の事と御推察いたし感謝と感激に耐え申さず候。小生事お蔭にて大陸の益害にも馴

公會堂竣工式の準備協議

平市公會堂の竣工式は既報の如く来る十月三日の舉行に決したが右式に關し今三十一日午後一時から同建築委員會同二時から参事會を會同し市會から任せられた諸準備の式次第及び電燈の特別契約その他について協議をなした

六圓献金

清水醫院長も金一圓の御手紙を去る四月十五日中支〇〇城にて警備中に有難く拜訪仕り戦後皆々様の御芳志の程今更ながら嬉しく存じ居り候。折も折金軍の血を離らせ徐々戦も近しく幸ひ我が部隊もこれに参加を命ぜられ四月十九日午前六時進軍を開始いたし候爲め其の出發準備に忙殺され御返事は勿論二ヶ月餘の長き御無音に打ち過し申候右の次第にて御心こめられたる慰問品の入手も意外におくれ去る七月十八日中支南方〇〇に於て有がたく頂戴いたし候

遺言の寄附

村内各種團體へ石城郡山田村の大津出身歩兵少尉下山田通君は此の程無言の凱旋したが同君は應召出發に當り勤務先の俸給は全部貯蓄に貯け、戦死の場合には全部村内各種團體の活動資金に寄附して貰ひたいとの生前の言葉があるので長男を失つた父嘉一郎氏は二百七十圓の貯金を左記の如く寄附した

若布採取で 銃後團へ寄附

江名傳馬船同業石城郡江名町の江名漁港傳馬船同業者は若布採取高の三分の一金三百七十五圓餘を坂本彌助、鈴木淺吉兩氏代表で町内左記團體に寄附した

四倉蕪市場

剛四四八〇圓四倉蕪市場昨昨日の出廻りは千六百八十九貫（一七三〇）總額七千五百六十六圓六十錢相場は左記の如し

磐城橋の調査

縣道平、小野郷町の平市内に於ける磐城橋の架換えでボリリングを下されてゐること既報の如く来る二日縣土木課から奥山技師調査のため出張演がある

井田木また崩壊

縣道平、三坂線好間村と箕輪村の境界にある井田木澤は土質關係で崩壊頻繁の箇所だが昨日日夜の降雨でまた山斜の崩壊に遭つた

職工のコソ泥

石城郡湯本町の湯本寺日波六町三三居住古物商前科一犯加藤大三郎（前）は昨年七月市中四四丁目海産物商安戸屋松崎喜一方から白銅の日本刀一口時價十圓を奪取してやると持参したる後松崎氏が應召せざるを奇貨とし長崎町小野義一に金廿八圓に賣つて知らぬ顔で過さんとし最近では去る六月五日目高木よし方に至り

古物商の詐欺横領十件

月見町の前科者平市三丁目五七當時市内月見町三三居住古物商前科一犯加藤大三郎（前）は昨年七月市中四四丁目海産物商安戸屋松崎喜一方から白銅の日本刀一口時價十圓を奪取してやると持参したる後松崎氏が應召せざるを奇貨とし長崎町小野義一に金廿八圓に賣つて知らぬ顔で過さんとし最近では去る六月五日目高木よし方に至り

後納實施

来る九月一日から實施される電報料金は平局に於ても取扱はれるが右の適用は官廳及び地方自治体に限るもので此

電報料金の

博物教師たる岡田、同校長の植竹二氏を首め、磐城高等女學校長の櫻井氏等が前後して其の究明に勉めたが、何れも結論を得られず、否得ても自家の説に止まつて、汎ろく學術的には認められず了つた。尤も之は現今尙、専門の學者にさへ議論まじりの迷惑問題であるから、況んや一般の取扱に應じ得るは、二時局だけとなつてゐる同制度の概要を上げれば左記の如くである

基本金五十圓

酒井家の寄附平市南町の酒井醫院では此の程故人となつた院長酒井國三郎氏が講師であり校長であつた磐城訓盲院へ基本金として五十圓を寄附した

六圓献金

清水醫院長も金一圓の御手紙を去る四月十五日中支〇〇城にて警備中に有難く拜訪仕り戦後皆々様の御芳志の程今更ながら嬉しく存じ居り候。折も折金軍の血を離らせ徐々戦も近しく幸ひ我が部隊もこれに参加を命ぜられ四月十九日午前六時進軍を開始いたし候爲め其の出發準備に忙殺され御返事は勿論二ヶ月餘の長き御無音に打ち過し申候右の次第にて御心こめられたる慰問品の入手も意外におくれ去る七月十八日中支南方〇〇に於て有がたく頂戴いたし候

竹細工爺さん

平市字月見町浦木春造六爺さんは單身孤獨の老の身を竹細工で細き棒を立ててゐるが正直一途且つ公共の志に厚く銀平支店の小使が大金を遺失したのを遺失主よりも血

目黒より

筆 諸根生 赤井の龍燈に就いての、法話と其の實在を説くのは、敢て無理ならぬこと、是れに對しては、元と磐城中學の

勿來庵

博物教師たる岡田、同校長の植竹二氏を首め、磐城高等女學校長の櫻井氏等が前後して其の究明に勉めたが、何れも結論を得られず、否得ても自家の説に止まつて、汎ろく學術的には認められず了つた。尤も之は現今尙、専門の學者にさへ議論まじりの迷惑問題であるから、況んや一般の取扱に應じ得るは、二時局だけとなつてゐる同制度の概要を上げれば左記の如くである

職工のコソ泥

石城郡湯本町の湯本寺日波六町三三居住古物商前科一犯加藤大三郎（前）は昨年七月市中四四丁目海産物商安戸屋松崎喜一方から白銅の日本刀一口時價十圓を奪取してやると持参したる後松崎氏が應召せざるを奇貨とし長崎町小野義一に金廿八圓に賣つて知らぬ顔で過さんとし最近では去る六月五日目高木よし方に至り

古物商の詐欺横領十件

月見町の前科者平市三丁目五七當時市内月見町三三居住古物商前科一犯加藤大三郎（前）は昨年七月市中四四丁目海産物商安戸屋松崎喜一方から白銅の日本刀一口時價十圓を奪取してやると持参したる後松崎氏が應召せざるを奇貨とし長崎町小野義一に金廿八圓に賣つて知らぬ顔で過さんとし最近では去る六月五日目高木よし方に至り

後納實施

来る九月一日から實施される電報料金は平局に於ても取扱はれるが右の適用は官廳及び地方自治体に限るもので此

思想と經濟で

落通署長會議

今廿一日平署で落通りに於ける平署外植田、四倉、富岡、浪江、原町六警署の署長會議は今三十一日

公會堂竣工式の準備協議

準備協議

平市公會堂の竣工式は既報の如く来る十月三日の舉行に決したが右式に關し今三十一日午後一時から同建築委員會同二時から参事會を會同し市會から任せられた諸準備の式次第及び電燈の特別契約その他について協議をなした

三陸沖の鯉の豊漁も

漸く終期次は秋刀魚

海水試取の磐城丸は定期海を以て終期次は秋刀魚の調査を行つたが明一、小名瀬へ歸る船中、今度の活動に準備する船体修理や非常時下の調査に順應する代用品の實驗等を行ひたる上目下三陸沖に豊漁状態では今年のサンマは幾分漁期遅れの模様であると

戦地郷土の産神に

の便 誓ひ申候てより

（上） 平市新町出身 正木 貞衛 拜啓、其の後打ち絶えて御無音にのみ過し居り候こと面々御座り候。時下敵寇の折柄貴下愈々御健勝にて戦後各國の御指導願遂に當られ御老境も御厭ひなく相變らず御奮闘の事と御推察いたし感謝と感激に耐え申さず候。小生事お蔭にて大陸の益害にも馴

竹細工爺さん

國防献金五圓

平市字月見町浦木春造六爺さんは單身孤獨の老の身を竹細工で細き棒を立ててゐるが正直一途且つ公共の志に厚く銀平支店の小使が大金を遺失したのを遺失主よりも血

目黒より

勿來庵

博物教師たる岡田、同校長の植竹二氏を首め、磐城高等女學校長の櫻井氏等が前後して其の究明に勉めたが、何れも結論を得られず、否得ても自家の説に止まつて、汎ろく學術的には認められず了つた。尤も之は現今尙、専門の學者にさへ議論まじりの迷惑問題であるから、況んや一般の取扱に應じ得るは、二時局だけとなつてゐる同制度の概要を上げれば左記の如くである

職工のコソ泥

古物商の詐欺横領十件

月見町の前科者平市三丁目五七當時市内月見町三三居住古物商前科一犯加藤大三郎（前）は昨年七月市中四四丁目海産物商安戸屋松崎喜一方から白銅の日本刀一口時價十圓を奪取してやると持参したる後松崎氏が應召せざるを奇貨とし長崎町小野義一に金廿八圓に賣つて知らぬ顔で過さんとし最近では去る六月五日目高木よし方に至り

後納實施

電報料金の

博物教師たる岡田、同校長の植竹二氏を首め、磐城高等女學校長の櫻井氏等が前後して其の究明に勉めたが、何れも結論を得られず、否得ても自家の説に止まつて、汎ろく學術的には認められず了つた。尤も之は現今尙、専門の學者にさへ議論まじりの迷惑問題であるから、況んや一般の取扱に應じ得るは、二時局だけとなつてゐる同制度の概要を上げれば左記の如くである

基本金五十圓

六圓献金

清水醫院長も金一圓の御手紙を去る四月十五日中支〇〇城にて警備中に有難く拜訪仕り戦後皆々様の御芳志の程今更ながら嬉しく存じ居り候。折も折金軍の血を離らせ徐々戦も近しく幸ひ我が部隊もこれに参加を命ぜられ四月十九日午前六時進軍を開始いたし候爲め其の出發準備に忙殺され御返事は勿論二ヶ月餘の長き御無音に打ち過し申候右の次第にて御心こめられたる慰問品の入手も意外におくれ去る七月十八日中支南方〇〇に於て有がたく頂戴いたし候

農業方面

農山漁村への新指令 (中)

必要程度を四分し
全面的の生産統制

産業組合の拡充、現下の時局に於て産業組合の活動にまつべきの多く殊に必要物配給の円滑等を期するためには一段と拡充を期することが緊要なもので此の際産業組合の設置なき町村にありては速かにこれを設立させ既設の産業組合は未加入者を速かに加入せしむると共に産業組合の自己資金を一層増大させる。

加里肥料の配給統制の強化肥料の輸入制限の強化に伴ひ肥料の消費調整に關する方策と併行して配給の統制の強化に關する諸種の具體的方策を考究中であるが今般加里肥料につき其の輸入の現状に鑑み臨時肥料配給統制法第二條の規定に基づき省令を制定し粗製加里類の輸入販賣をなすもの配給及び販賣價格の公正を期すること。

漁業用必需品の消費規正、漁業用品の石油、綿糸、マンラ麻、染料等は經營上の必需品で直ちに漁業經營に支障を來たし漁業者の生活の安定を缺く虞れあり漁業用石油の消費規正は實施の當初無駄排除の程度に止する豫定であるが種々の事情により相當の節約を餘儀なくせられたるのみならず今後なほ規正の強化を免かれ得ないで漁業者の交互出漁、無動力船への轉換を

たは徹底的な無駄排除の指導等これが對策を速かに樹立する。



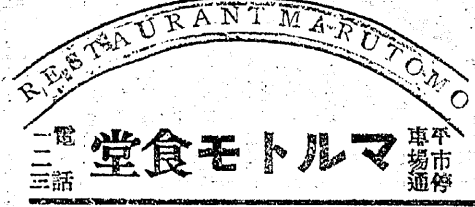
牛も豚も優良品の自慢

市内 三三三 肉の御 田町 三三三 消費は

一、般印刷物も
割引受致します
新しいわき新聞社

品名	単位	価格
月カツレツ	一斤	三三三
火ポヤツ	一斤	三三三
水エビ	一斤	三三三
木メンチ	一斤	三三三
金コロケ	一斤	三三三
土フライ	一斤	三三三
日ランチ	一斤	三三三

特にマルトモのランチは...
材料のおまかせを願つて居る爲め其の節々のおいしい新鮮な物を御進め出来まので御華客様からいつも御好評を戴いて居ります



馬車通 平市停
電話 二二三

病室増築、手術室完備
産科 醫學博士
婦人科 五十嵐雄二
平市新川町「電話三六九番」

大河内 整形科外醫院
平市搦槌小路
電話五八八番

レストラン サロシ
喫茶、酒物を兼ねた。
町田平 二五三電

外科一般 内臓外科
レントゲン科 泌尿器科
晝夜 北川外科
平市新川町二七(電四六四)
北川芳夫 醫師
三浦常保 技師

御婦人用 御子様用
陳列 簡單衣 豊富
ツルヤ 平電一四〇

診療科目
一、齒科一般
保存科、補綴科、繼續架工科、齒列矯正科、小兒科、齒槽膿漏科、
一、口腔外科
一、レントゲン科
中市田町(松月堂向ヒ)
電話五〇九番
中野齒科醫院
院長 日本齒科醫學士 中野政次
日本齒科醫學士 堀谷伍郎
日大齒科醫學士 補綴部主任 佐藤重義

平病院 (平市元共濟病院跡) 電話六四一番
院長 醫學博士 鈴木定藏
内兒科 部長 鈴木定藏
副院長 佐藤幾要司
皮膚泌尿器科 部長 高橋俊幸
物理療法科 部長 鈴木定藏
藥劑科 部長 吉本孝平
診療時間 毎日午前八時より午後九時まで
夜間診療に従事す(急患は此の限にあらす)

和洋銅鐵、金物問屋
店商屋釜
九九・九電

諸毒下シの大妙藥
安流丸
特約 山野邊藥局